

## ■ 連続立体交差事業 JR信越本線等（新潟駅付近） 整備効果と便益額 概要

再評価（R5年度）／新潟市

分類	便益項目	考え方	便益額（百万円）
交通3便益	移動時間の短縮	費用便益分析マニュアル 連続立体交差事業編 R4.2	24,029
	走行経費の削減	同上	2,758
	交通事故の減少	同上	584
その他便益	快適に歩ける価値観の向上	広場整備による自由歩行、より楽に移動できる価値観の向上 参考：都市再生交通拠点整備事業に関する費用便益分析マニュアル（案） H13.4	56,941
	交通結節点の強化	高架下広場での鉄道とバスの乗換時間の短縮など 参考：鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル 2012 参考：費用便益分析マニュアル 連続立体交差事業編 H30.2	50,971
	駅機能の向上	新幹線と在来線の同一ホームによる乗換時間の短縮 参考：鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル 2012	12,564
	地価の上昇	連続立体交差事業化以降の周辺地価の上昇 参考：土地区画整理事業における費用便益分析マニュアル（案） H21.7	10,338
	跨線橋架替費用の削減	東跨線橋の架替事業費、架替に伴う迂回損失 参考（迂回原単位設定）：費用便益分析マニュアル 連続立体交差事業編 H30.2	8,912
	列車運行の円滑化	新潟駅⇔白山駅間の一部区間の複線化による列車合わせ時間の短縮 参考（原単位設定）：鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル 2012	6,025
	関連事業の誘発	ロードビーティング等の整備に伴う歩行速度の改善 参考：費用便益分析マニュアル 連続立体交差事業編 H30.2	4,633
	駐車利用の利便性向上	駅前広場の送迎駐車場の駐車マス数の増加による収益効果	1,948
	建設活動の誘発	旧南口広場（自転車駐輪場等）を活用して賃貸できる効果	1,462
	駅施設等への満足度の向上	駅前広場等の整備された施設が利用しやすくなる満足度の向上 参考：都市再生交通拠点整備事業に関する費用便益分析マニュアル（案） H13.4	1,332
	踏切事故危険感の解消	踏切での歩行者と自動車との事故の危険性の削減 参考：都市再生交通拠点整備事業に関する費用便益分析マニュアル（案） H13.4	849
	耐震補強による安心・安全の向上	地震時に構造物が倒壊し、復旧まで交差道路の遮断を回避する効果	529
	高架下空間の創出・利用	鉄道の高架下を利用することができる効果 参考：連続立体交差事業の費用便益分析マニュアル H11	137
環境負荷の低減	踏切待ちのアイドリング、CO2、Noxの削減、列車騒音の減少 参考：道路投資の評価に関する指針（案） H10.6	132	
<b>17項目の合計</b>			<b>184,142</b>